

ひまわり

宮崎社会保険病院
病院長 石川 正

宮崎市大坪西1-2-1
TEL.0985(51)7575
FAX.0985(53)8821



春の日差しが暖かく、肌を感じる風も心地よい季節となりました。

皆様お変わりなくお過ごしでしょうか。

本年度4月より、医療・介護の面ではさまざまな改正が行われ、各医療機関や関連施設においては多忙な日々を送られているところが多いのではないかと思います。

さて、平成16年4月の開設より2年が経過し、3年目を迎えております地域医療連携室も、各医療機関の先生方、その他スタッフの方々の変わらぬ御理解と御協力により、順調な運営に至っている今日であります。

専任担当でありながらもまだまだ未熟であり、皆様にはご迷惑をおかけすることもあるかと思いますが、これからもよろしくお願いいたします。



地域医療連携室
立山 奈月

ご紹介します！ 社会保険病院の診療科

今回は、

循環器内科

です。



(写真:左から 渡邊医師、松尾医師、石川病院長、平山医師)

今回は循環器内科の紹介をさせていただきます。開業医の先生方には日ごろから当院内科および循環器内科へ、多くの患者様のご紹介を頂き有難うございます。時代とともに疾病構造は変わりますが、日々外来診療をやっている今日では循環器系疾患が急増しているような印象があり、欧米化された生活と、高齢化による影響が大きいと思われます。当科では心臓、大血管、高血圧などの循環器疾患の急性期診断と集中的な治療から社会復帰に至るまでの慢性期ケアに関して高度な医療を実践しています。心電図や心エコーなどの一般的な検査により総合診断を行い、さらに精密な検査を要する場合にも対応できるよう、平成14年12月より心臓カテーテル検査も実施しています。診療にあたっては、患者様の要望を積極的に取り入れ、診断の方法や治療方針の決定には、分かりやすい説明を心がけています。心臓カテーテル検査や経皮的冠動脈インターベンション(PCI)は水曜日以外の平日は症例があれば毎日行っています。患者様の負担をできるだけ少なくするため、心臓カテーテル検査目的の入院は一泊二日～二泊三日で行っています。また急性心筋梗塞などの救急疾患の診療に対しても、休日や夜間を

問わず24時間体制で行えるように病院内のシステムは整っています。当科での平成17年1月～12月までの1年間の実績は、心エコー：812件、心臓核医学検査：41件、心臓カテーテル検査：102件(重大合併症0%)、PCI：24件(初期成功率96%、重大合併症0%)、恒久的ペースメーカー植え込み術：7件などで、年々増加傾向にあります。

それでは常勤医師の3名をご紹介します。まず、渡邊玲子医師は、平成10年に宮崎医科大学を卒業し、大学病院勤務後、県立宮崎病院、都城市郡医師会病院勤務を経て、平成16年6月より当院に勤務しております。循環器内科の働き頭で、多くの外来・入院患者様を抱えておりますが、その分臨床経験が豊富でパワフルにそつなくこなしています。心臓カテーテル検査や恒久的ペースメーカー植え込み術、PCIの技術習得に研鑽する一方で、最近注目されている心臓リハビリテーションを当院に本格的に導入するため、その準備やスタッフへの指導に日々励んでおります。次に、私、平山直輝(循環器専門医)は平成元年宮崎医科大学を卒業し、大学病院勤務後、県立日南病院、都城市郡医師会病院、宮崎医科大学大学院、宮崎市郡医師会病院の

勤務を経て、平成14年10月より当院に赴任いたしました。赴任後2ヶ月間の準備期間を経て、当院での心臓カテーテル検査やPCIを開始し、現在もその責任者として業務にあたっております。松尾剛志医師(循環器専門医)は、昭和59年宮崎医科大学を卒業し、同大学院、国立循環器病センター、県立日南病院、米国での留学(Medical University of South Carolina)、宮崎医科大学付属病院第一内科局長を経て、平成16年11月より当院に内科主任部長として勤務しております。循環器内科の中でもとりわけ心臓核医学検査や心エコーなどのnon-invasiveな分野を得意とする一方で循環器の分野ばかりではなく、訪問看護や老健施設での診療にも積極的に携わり内科全般をよりグローバルに展開し、以前にも増してここ数年、内科診療科はかなり活性化されて参りました。

以上の3名の常勤医師が循環器系疾患の患者様には人間味のある暖かい、そして質の高い医療の提供に励む所存であり、今後も地域医療の発展とご紹介頂いた開業医の先生方にもお役に立てるよう努力していきたいと存じます。患者様のご紹介を今後ともよろしくお願い申し上げます。

(平山直輝)

2月、3月の
実施状況

症例検討会へどうぞ

● 今後の予定 ●

5・6・7月

5月18日(木)

6月22日(木)

7月20日(木)

2月

(2月16日実施)

- ・2006年後期における胃癌症例について
- ・宮崎社会保険病院 放射線科紹介
- ・上腕骨近位端骨折の治療
- ・関節リウマチの画像診断

3月

(3月23日実施)

- ・骨・関節疾患の感染症に対する持続灌流法
- ・消火器爆発による重症顔面外傷の1例
- ・最近の当院における腎疾患症例について
- ・宮崎社会保険病院 麻酔科紹介
- ・2006年後期における大腸疾患症例について
- ・骨腫瘍の画像診断

地域医療を 支える



院長 巴 寛

地域医療連携の必要性

振り返って今思う事…その先は？

巴外科内科

〒880-0916 宮崎県宮崎市大字恒久5988番地

TEL 0985-51-1777

FAX 0985-51-5550

E-mail : tomoe@tomoegekanaika.com

当院は、平成5年2月に現在地に父の跡を継いで「地域に根ざした医療」をモットーに19床の有床診療所としてオープンいたしました(当時は、現在の社会保険病院がまだ江南病院と言われていました)。開業してすぐに思い知らされたことは一人でする医療には限界があるということでした。開業する前から分かっていた事では有りますが、現実につきつけられると戸惑ったものです。どこまで自分ですれば良いのか？どこまでして良いのか？いやどこまで出来るのか？この事が一番の問題でした。結論は、当たり前かもしれませんが、患者様に満足していただくにはどうすればよいのか？という事でした。自己満足ではないのです。あるセミナーで隣に座った方と話をする機会があり色々伺ってみました。その方は大阪で病院を開業されている方でした。答えはこうでした。「自分の専門以外は当然紹介しますが自分の近くの病院には紹介しません。なぜなら患者様を取られてしまいます。遠くなら通院がきついで当院に戻ってこられます。」との事でした。私はショックを受けました。誰が医療の中心にいるのだろうか？患者様に最高の条件で最善の治療を受けていただく事が一番いい事なのに、これだけ医療機関が増えれば患者様の奪い合いも起こるわけです。寂しい気持ちになってしまいましたが、でも、現実に私の周りでも同じような事が起こっております。

医者は、患者様が「一日でも早く元気になりたい」という気持ちを色々な方法でサポートするのが仕事だと思っております。医者が治すものではありません。患者様自身が自然治癒力を使って治すのです。この様な気持ちで日々頑張っております。そんなある日の事、突然白尾先生が美人の方と一緒に当院に来られました。「この度、地域医療連携室を立ち上げたので何時でもご利用下さい。また症例検討会も行

っておりますのでご自由にご参加下さい。」との事でした。開業しますと、出身の宮崎大学医学部第一外科の先輩、後輩の先生方とは研究会などでお会いする機会はあるのですが、なかなか他科の先生方とお話する機会はありません。ましてや私の様に宮崎大学医学部出身でない場合には、市内に出身校の先輩、後輩もおられません。その為、どのような事を専門にされておられるのかも分かりませんし、力量も分かりません。何処に紹介すればよいのか、たびたび悩んでおりました。

本当に地域医療連携室を作っていただいた事に感謝いたします。

大淀地区にある基幹病院の社会保険病院が中心となって大淀川より南の地域住民の健康維持のために地域医療機関と連携を図りながら進んでいく事は素晴らしい事だと思います。当院は、現在も腰麻や全麻の手術(胃切・腸切)など大小合わせて年間60例ぐらい手術を行っておりますが、色々な面でサポートしていただき感謝しております。個人的には、これからは横の広がりをもっと作り上げたいと思っております。もちろん社会保険病院に中心になっていただいで…。

それから、症例検討会の事ですが、誰でもそうだと思いますが、開業しますと学会等にはなかなか行けなくなり、知識の伸びは止まってしまう。市内で色々な勉強会もありますが、あえて専門ではない勉強会に顔を出す様にしております。しかし、急患などでなかなか参加できません。この症例検討会だけは出来るだけ参加したいと思っておりますし、地域医療連携機関からも積極的に症例を呈示出来れば理想的だと思っております。

宮崎社会保険病院 外来担当医一覧表

| 診療科 | 診療 | 曜日 | | | | | |
|--------------|--------------|-------------------------|-----------------|--------------------|-------------------|----------------|--|
| | | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | |
| 内科 | 新患 | 渡邊 玲子 | 松本 充峰 | 松尾 剛志 | 西 桂子 | 平山 直輝 | |
| | | 稲垣 浩子 | 松尾 剛志 | 高木 信雄 | 平山 直輝 | 川崎 由香 | |
| | 再来 | 平山 直輝 | 石川 正 | 石川 正 | 石川 正 | 松尾 剛志 | |
| | | 高木 信雄 | 稲垣 浩子 | 渡邊 玲子 | 渡邊 玲子 | 稲垣 浩子 | |
| | | 松本 充峰 | 平山 直輝 | 川崎 由香 | 川崎 由香 | 松本 充峰 | |
| | | 西 桂子 | 今村 卓郎 | 北村 和雄 | | 渡邊 玲子 | |
| 特殊再来(午後) | | | 高木 信雄 | 高木 信雄 | 稲垣 浩子 (第1,3金曜) | | |
| 外科 | | 白尾 一定 | 貴島 文雄 | 白尾 一定 | 秦 洋一 | 貴島 文雄 | |
| | 乳腺・甲状腺外来(午前) | | | | | 白尾 一定 | |
| | ストーマ外来(午後) | 貴島 文雄 (第1,3月曜) | | | | | |
| | NST外来(午後) | | | 白尾 一定 (第3水曜は除く) | | | |
| 形成外科 | 第1 診察室 | 大安 剛裕 | 伊木 秀郎 | 大安 剛裕 | 高橋 国宏 | 大安 剛裕 | |
| | 第2 診察室 | 三柘 律子 | 三柘 律子 | 高橋 国宏 | 三柘 律子 | 伊木 秀郎 | |
| 整形外科 | 第1 診察室 | 本部 浩一 | | 本部 浩一 | 小島 岳史 | 本部 浩一 | |
| | 第2 診察室 | 福島秀一郎 | 有住 裕一 | 弓削 七重 | 福島秀一郎 | 有住 裕一 | |
| | 初診 | 弓削 七重 | 本部 浩一 | 福島秀一郎 | 有住 裕一 | 小島 岳史 | |
| 放射線科 | CT/MRI/RI | 杜若 陽祐・結城 康弘・伊藤 泰教・宮田 裕子 | | | | | |
| | 血管造影 | 結城 康弘 | | | | | |
| | 内視鏡 | 伊藤 泰教 | | | | | |
| プライマリーケア(午後) | | 川崎 由香 (西 桂子) | 稲垣 浩子 (平山直輝) | 渡邊 玲子 (松本充峰) | 松本 充峰 (渡邊玲子) | 西 桂子 (川崎由香) | |

*都合により変更になる場合があります。

(平成18年4月3日現在)

受付時間 8:30~11:00 (但し、急患・紹介患者はこの限りではありません)

編集後記

いつも大変お世話になっております。

今回の「ひまわり」は、私(立山)が撮影した写真を表紙に使わせていただきました。

「趣味は写真を撮ることです」と周囲に公言しているので、今後は季節を意識して表紙に利用できる写真を撮っていきたくております。お楽しみに……。ちなみに今回は青島です。

また、ひまわりに関するご意見・ご要望がありましたら連携室までご連絡ください。今後ともよろしくお願いたします。

(立山奈月)

ご意見・お問い合わせ 宮崎社会保険病院 地域医療連携室

TEL.0120-855-082 FAX.0120-855-083

(地域医療連携室長:白尾一定 専任担当:立山奈月)